



# 太尾山

湖国健脚倶楽部

## 米原市

湯谷の森は戦国ロマンあふれる里山  
中世の城跡をめぐって眺望を満喫!

**J** R米原駅の東口に出ると、集落の向こうに低い山並みが迫って見えます。庭園で有名な青岸寺や米原曳山まつりで知られる湯谷神社の背後にそびえるこの山城は太尾山と呼ばれ、山頂には中世に築かれたといわれる太尾山城跡が残っています。江北と江南の境に位置する城で眼下に北国街道が望める要衝であったことから、軍事的に要の城であったことは想像できるでしょう。南北にのびる尾根の2つのピークに主郭を設けた別城二郭と呼ばれる構えの城で、北城と南城の周辺には曲輪と思われる削平地や土塁、堀切りなどの遺構が確認できます。駅から歩いて簡単にアプローチできる、歴史ファンにはうれしい史跡です。

この山城は「湯谷の森」と名付けられ、城跡をめぐる遊歩道が整備されています。登り口は青岸寺の駐車場と湯谷神社の奥の2カ所。階段もあれば未整備の急勾配の道もあり、約250mの低山でありながら気持ちよい汗がかけます。今回は青岸寺側から北城、南城をめぐって、湯谷神社へくだる北まわりのルートを進きました。北城のある山頂はもちろん、途中で盗人岩など眺望が楽しめるスポットもあり、軽ハイキングにおすすめです。

**DATA**

山行日 / 08年3月12日  
 天候 / 晴れ  
 歩行距離 / 約3km  
 総時間 / 約2時間  
 難易度 ★ (初級向け)



太尾山城跡(北城)のピークの北にある盗人岩展望所。西方の眺望が楽しめます。



尾根にある巨大な盗人岩。

急斜面を登ると背後に米原の市街地が。



尾根にある巨大な盗人岩。



国指定名勝の庭園がある青岸寺。

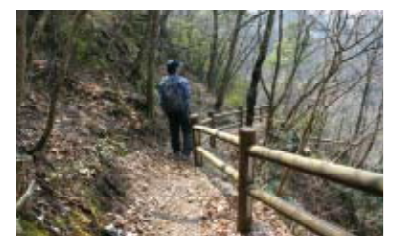


青岸寺駐車場にある案内図。この左奥が登り口。

堀切りから谷を下って湯谷神社へ  
山麓の寺社をめぐりましょう  
先ほどの大きな堀切りから湯谷神社の濱田口までは谷筋に沿って下るルート。沢の水音が聞こえてくるとまもなく湯谷神社です。境内左奥の牛頭天王社から金毘羅大権現、青岸寺まで、山腹にさらに遊歩道が続きます。



山麓にある湯谷神社。



堀切りから下山ルートへ。



南城の主郭跡。北城よりは少し狭い。



南城の北にある巨大な堀切り。

### ひとくちメモ

#### ●太尾山城をめぐる人々

「近江国坂田郡志」によると、太尾山城を築いたのは地元元土豪米原氏。『妙意物語』によると、文明三年(1471年)に美濃守護代斎藤妙椿と米原山で合戦があったことが記されていて、この頃に築かれたものと考えられます。戦国時代に湖南の守護六角氏方の城となりますが、永禄四年(1561年)に浅井長政によって攻略。城番に浅井郡の土豪中嶋宗左衛門を入れます。元亀二年(1571年)、織田信長による佐和山城攻めで宗左衛門は太尾山城を退き、以後廃城となりました。(北城の説明板より)

- アクセス  
JR米原駅東口、近江鉄道米原駅から登り口のある青岸寺、湯谷神社まで徒歩約10分。
- 観光に関するお問い合わせ  
米原観光協会  
☎0749-58-2227

※山行の際は、国土地理院発行の正確な地図(2万5千分1地形図など)をご使用ください。

### Route map

